広報

令和8年 秋号

つわぶき

祝



開園45周年を迎えました!!

〒 869－5563
熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1505－1
社会福祉法人　光輪会
障害者支援施設　石蕗の里　TEL 0966-86-0515　FAX 86-1194
グループホーム　つわぶき　TEL 0966-86-0999　FAX 86-0999

熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1506-9
障害者グループホーム　つわぶきの家　TEL 0966-86-1868

開園４５周年を迎えて

昭和56年10月に身体障害者療護施設「石蕗の里」として歩みを始めて以来、お陰様で本年10月1日をもちまして、創立45周年を迎えることができました。これもひとえに、ご利用者様、ご家族、そして関係各位の皆様から寄せられた温かいご理解とご支援の賜物であり、職員一同、心より深く感謝申し上げます。

なお、去る7月28日に発生しました令和8年熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。今なお日常を取り戻せずにいる多くの方々の生活に、一日も早く平穏が戻りますよう、復旧・復興を心より祈念いたしております。

さて、現在の当法人の運営状況と展望についてご報告いたします。現在、施設入所支援（50床）、生活介護（60床）、短期入所（5床）、共同生活援助事業（10床）、認知症グループホーム（18床）、ならびに相談支援事業を展開しております。さらに、本年10月1日からは、水俣市・芦北町・津奈木町からの受託事業として、水俣芦北圏域基幹相談支援センター「キャンバス」を開所いたしました。当センターは、障がいのある方やご家族からのご相談に応じるだけでなく、地域の相談支援事業所や福祉・医療・行政等の関係機関と密に連携し、地域全体の相談支援体制の充実を図ることを目的としております。3名の専門職員を配置してスタートを切りました。どうか地域の皆様のお力添えをいただけますようお願いいたします。

続いて、現在の当法人の運営状況についてご報告いたします。職員数は100名に達し、そのうち13名が外国人スタッフとして活躍してくれています。今後さらに先を見据えたマンパワーの確保として、9名の追加採用を予定しております。現在、私たちが直面している最大の課題は人手不足の解消です。外国人スタッフを単に「お手伝い」と考えるのではなく、一人ひとりが一人前のケアスタッフとして自立し、介護福祉士国家試験の合格を経て、この芦北町に長く定住して働いてもらえるような職場環境を構築することが急務であると考えております。私たちは有資格者、無資格者、あるいは国籍を問わず、誰もが質の高いケアを提供できる施設であるために、法人全体のDX化を積極的に推進し、誰もが働きやすい新たな介護現場の仕事の在り方を模索・構築していかなければなりません。この施設サービスの生産性の向上こそが、私たちが目指す「100年企業」を実現するための必要な道筋であると確信しております。

これからも職員一同、法人理念である「誠心誠意」の下、地域福祉の向上、職員の幸福、そして法人の持続的な発展に向けて歩みを進めてまいります。関係各位の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

理事長兼施設長　山本　恭永

祝 開 園 45 周 年



豪華なお祝い御膳です



次は何いこか



美味しいで～す！







私にもちょうだい



楽しんでますよ～





測上様…突然の飛び入りで大盛り上がり

永年勤続表彰



勤続10年の表彰

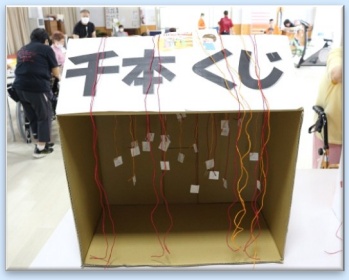
永江啓輔生活支援員です。『皆さんのお陰で10年やって来れました。これからもよろしくお願いします。』と賞状とお祝いの高級ヘルスメーターを手に挨拶をされました。



ケアパーク様からお祝いの鉢物をいただきました。

お楽しみ！『お祭り週間』を開催しました！






わたあめおいしいね♡

新たな試みとして、「お祭り週間」を生活センターで開催しました。綿あめやヨーヨー釣り、千本くじ、ソフトクリームなど、日替わりでさまざまな催しを実施。利用者の皆さまの笑顔や歓声があふれ、楽しいひとときを過ごしていただきました。これからも、皆さまに喜んでいただける企画を考えてまいります。

敬老会










17名の皆さま、いつまでもお元気で！

マンドリン演奏会








九月には昨年に引き続き、芳北マンドリン協会の皆様におこしいただき、竹﨑町長指揮の下素晴らしい演奏をたっぷり聴かせていただきました。利用者の皆様も「素敵だった、良かった！」と喜ばれていました。芳北マンドリン協会の皆様ありがとうございました。

グループホームだより



７月は、七夕の飾りつけや、オムツ着用の講習を受け、正しい着用方法を確認しました。





８月は、お盆恒例の柏団子づくりや、猛暑の中での「かき氷」を楽しみました。





９月は、敬老祝賀会で職員の余興とプレゼントで長寿をお祝いしました。



つわぶきの家だより



ミャンマー出身のチーさん着物似合いますね!! 素敵です♡
お祭りにぴったり！！

バババは誰がもっているかな？



８月に生活センターで一週間を通して『お祭り週間』があり、毎日違う催しに、つわぶきの家入居の皆さまも楽しそうに参加されていました。
また、週末の活動として、皆さま居間に集まりトランプなどテーブルゲームを行い過ごされています。

遠距離ショッピングについてのお知らせ

これまで実施しておりました遠距離ショッピングにつきまして、地震の影響や職員の体制の都合により、これまでと同様の実施が難しい状況となっております。
ご利用者様の買い物の機会を確保するため、今後はご家族のご協力や外部サービス等を活用し、以下の方法をご検討いただければと思います。

・ご家族に必要なものを購入していただく
・ご家族と一緒に買い物に出かける
・介護タクシー等を利用して買い物に出かける
・施設でインターネット等を利用して購入する

これまで遠距離ショッピングを楽しみにされていたご利用者様・ご家族には、ご不便をおかけすることとなり申し訳ございません。
今後も、ご利用者様が必要なものを購入できるよう、可能な方法を一緒に検討してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。





10月から「カスハラ」への取り組みをスタートします

当施設では、利用者の皆さまが安心してサービスを受けられるよう、職員が安全に働ける環境を守るために「カスハラ(カスタマーハラスメント)」に対する取り組みを10月からスタートします。

カスタマーハラスメント(カスハラ)とは、利用者やご家族等からの言動のうち、その内容が社会通念上不適切な言動や要求の事です。職員の心身を傷つけ、サービスの質にも影響を及ぼします。

例）・暴言・威圧的な言動・過度な要求　・不当な要求
・長時間の拘束・繰り返しの言動　・職員への人格を否定するような言動など

悪質、職員の安全や心の健康を損なう行為については、サービスの提供をお断りしたり、警察に相談・通報することがあります。

【当施設の取り組み】

① 職員の安全と心の健康を守ります

② 対応の内容を記録・共有します

③ 職員への研修を行い、安心できるサービスを提供します

④ 安心して利用できる環境づくりに取り組みます



皆様のご理解とご協力をお願いいたします。サービスについてのご意見やご要望、改善に繋がるお声は、これまでと変わらず大切にし、より良いサービスの提供に努めてまいります。

大型テレビをご寄贈いただきました

このたび、利用者家族会の皆様より、大型テレビ（75インチ）をご寄贈いただきました。寄贈いただいた大型テレビは、利用者の皆様が楽しく過ごして頂くために、カラオケやDVD鑑賞を始めとした日々の活動に有効に、大切に活用させていただきます。

利用者家族会の皆さまの温かいお心遣いに改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

ワクチン接種について

当施設でのコロナワクチン接種についてのお知らせです。当施設では集団接種は行わず、接種ご希望のある方のみ接種対応となりますので、ご希望の方は『サビ管の中尾』まで連絡をお願いします。

尚、インフルエンザの予防接種については、例年通り施設での集団接種となります。



編集後記

七月の熊本震災により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興・復旧が進み、平穏な日常を取りもどされることを衷心より、祈念申し上げます。

今回は、幸いにも当法人は大きな被害はありませんでしたが、今後の震災に備え、災害時の対応に取り組んで行かなければならない事を再認識致しました。

日頃、生の音楽に触れる機会が少ない利用者の為に　芦北マンドリン協会の皆様が来園され、演奏会を開催していただきました。懐かしい唱歌や歌謡曲を演奏され、利用者の方々も一緒に口ずさまれたり、手拍子されて楽しいひとときを過ごすことが出来ました。マンドリン協会のメンバーの方々は、一時間前には来園され、音合わせされる等、その真剣な取り組みに感謝申し上げます。

地域支援・広報委員会